

境港出雲道路整備計画検討会

第2回 説明資料

— 道路交通課題に関する意識調査 —

令和8年2月24日



1. 意識調査の目的及び対象範囲	2
2. 意識調査の手法と対象者	4
3. 意識調査の質問項目	5
4. 意識調査の質問票	6
5. 意識調査内容	15
6. 意識調査の結果	18

- 意識調査は、道路交通課題の意識の把握、高規格道路である境港出雲道路の認知度向上を目的として実施。
- 対象範囲の設定に関しては、事業の特性、地域の特性、事業によってもたらされる影響の範囲、事業自体や事業の影響・効果に対する関心の度合い等を考慮し、境港出雲道路が通過する松江市及び出雲市を対象地域に設定。

■意識調査の目的

- ①道路交通課題に関する意識の把握(住民・関係者等の意識する道路交通課題の内容と重要度を把握)
- ②高規格道路 境港出雲道路の認知度向上(事業の具体化に向け、当該事業に関する貴重な情報提供機会として活用)

■道路交通課題に関する意識調査の対象範囲の設定方針

配慮事項	概要
①事業の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・「中海・宍道湖圏域道路整備勉強会」において、今後の進め方として機能軸強化の方向性が提示されている。 ・『機能軸①・②については、東西方向における交通課題の解消を目的とし、道路ネットワークの機能強化に向け、関係自治体と連携し、整備方針の検討を実施』 ※機能軸③については、空港・港湾へのアクセス強化を目的とし、規格の高い道路の計画の具体化に向けた検討を、関係自治体と連携して実施  <p>※○および矢印は具体的なルートを示したものではありません 資料：第2回中海・宍道湖圏域道路整備勉強会</p> <p>▲機能軸強化の方向性</p>
②地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・機能軸①である境港出雲道路は松江市及び出雲市を通過するため、事業の影響・整備効果等は大きいと考えられる。
③事業によってもたらされる影響の範囲	
④事業自体や影響・効果に対する関心の度合い	



資料：「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン(平成25年7月/国土交通省道路局)」を参考に整理

- 意識調査は、アンケート調査、ヒアリング調査を実施。
- アンケート調査は、回答数の確保を目的とする地域住民を対象とした郵送調査と、主に来訪者を対象とした留め置き調査に加え、不特定多数の対象者に対応したWEB調査を実施。
- ヒアリング調査は、回答の背景等をより詳細に把握する目的で、企業や団体等の関係機関を対象に実施。

■意識調査の種別と対象者

調査種別	調査目的	対象者	備考	対象者数及び企業・団体数		
アンケート	WEB	地域住民等	市報及び島根県・市のHPで周知し、WEB調査を実施	-		
	郵送	地域住民の意識把握	地域住民	松江市	全世帯約92,000世帯に対し抽出調査(約10%)	9,200
				出雲市	全世帯約70,000世帯に対し抽出調査(約10%)	7,000
				合計	-	16,200
	留置	沿線地域外からの来訪者の意識把握	来訪者(一部地域住民)	道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を設置(27箇所)	2,800	
小計				19,000		
ヒアリング	回答者が意識している課題、期待される効果の背景を確認する等、密度の濃い意見を把握	企業・団体	防災関係	防災に関する松江市、出雲市の担当課で、防災に関する課題を把握している組織	松江市防災危機管理課 出雲市防災安全課	2
			産業・物流関係	対象地域の産業や物流面での課題を把握している事業所等	島根県トラック協会 製造事業所、運送事業所等	18
			港湾・空港関係	対象地域内の空港・港湾であり、人流・物流に関する課題を把握している拠点	出雲縁結び空港 米子鬼太郎空港 境港	3
			観光関係	松江市、出雲市内の、観光地域づくりの推進、観光情報ネットワークの整備に関する事業等について支援協力し、観光に関する課題を把握している機関	松江観光協会 出雲観光協会 中海・宍道湖・大山圏域観光局等	6
			医療関係	松江市、出雲市内の、救急医療体制における搬送活動等を担い、医療に関する課題を把握している機関	松江市消防本部 出雲市消防本部	2
			安全・安心関係	松江市、出雲市内の、交通安全に関する業務を行い、安全・安心に関する課題を把握している機関	松江警察署 出雲警察署	2
			日常生活関係	松江市内及び出雲市内の、路線バスを運行し、日常生活の移動に関する課題を把握している機関	交通事業者	2
			小計			

- 視点別の道路交通課題を踏まえて、質問項目を設定。

【意識調査の質問項目】

意識調査の質問項目	道路交通課題	
	視点	概要
■ 既存の高速道路や空港・港湾へのアクセス性が低く、効率的な物流活動を阻害している	産業・物流ネットワークの状況【産業】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中海・宍道湖圏域には多数の工業団地が立地しており、国道9号・山陰道沿線の工業団地は既に分譲済みとなっている。 ■ 宍道湖北側の国道431号沿線の工業団地は、高規格道路や空港、港湾などの交通拠点へのアクセス性が低いことなどから大半が現在も分譲中となっており、中海・宍道湖の南北で分譲状況に差が生じている。
■ 観光地への移動時間が長く、多くの観光地へ訪れることが難しい	観光周遊・主要観光施設圏域の状況【観光】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中海・宍道湖圏域内には、出雲大社や松江城等の有名な観光地の他に、年間30万人を集客する魅力的な観光地も多数存在しているが、1～2箇所の訪問が全体の約8割を占める等、観光地間のアクセスに時間を要しており、周遊観光に課題がある。 ■ 出雲大社から松江城間のアクセスにおいては、国道431号経由の方が山陰道経由より距離は短いが必要時間は同程度である。
■ 時間帯によって移動時間にばらつきがあり、時間を読みにくい	都市間アクセスの状況【日常生活】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出雲松江間の所要時間は、国道431号経由でも国道9号経由でも変わらない。 ■ 出雲松江間の国道431号及び国道9号経由において、朝ピーク時とオフピーク時の所要時間差が大きい。
■ 災害時の通行止めにより、移動が困難になる	島根半島地域の被災リスク【防災】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 島根半島は土砂災害警戒区域が多く、土砂崩落によるネットワーク寸断のリスクが高い。 ■ 出雲市における境港出雲道路並行路線は洪水浸水想定区域に指定されているほか、路面冠水による通行止めが過去4年間で6回発生している。
■ 医療機関への移動や救急搬送において円滑性・迅速性に課題がある	救急搬送の状況【医療】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中海・宍道湖圏域内には、鳥取・島根県の7割にあたる4つの三次医療機関が立地している。 ■ 島根半島の国道431号沿線においては、三次医療機関に30分で到達できないエリアが多く存在している。
■ 交通事故の発生や急カーブの存在により、安全・快適に通行できない	交通事故・道路構造の状況【安全・安心】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 境港出雲道路並行路線では、松江市中心部及び出雲市中心部において重大事故が多く発生しており、死傷事故率の全国平均値を大きく上回る箇所が多く分布している。 ■ 国道431号の中海北側及び宍道湖西側にて平面線形不良箇所(R<150m)が多く分布している。 ■ 縦断線形不良箇所(i>6.0%)は特定のエリアに集中していない。

注)道路交通課題は、第2回検討会説明資料(境港出雲道路沿線地域の道路交通課題)から整理

■調査期間

《アンケート調査》 令和7年8月5日～9月19日
 《ヒアリング調査》 令和7年8月27日～10月3日

■調査内容

- ・境港～出雲間における道路交通課題に関する意識
- ・高規格道路 境港出雲道路の認知度

■アンケート配布範囲



■調査概要

境港～出雲間における道路交通課題に関する意識調査

島根県の出雲市と松江市は、人口集積が進み、観光資源、空港・港湾等の拠点性が高い地域ですが、島根半島における高規格道路※の整備は一部区間にとどまっている状況にあり、地域間の連携の面で課題を抱えていると考えられます。

今回の意識調査は、境港～出雲間（特に出雲市～宍道湖北岸、松江市橋北～美保関町間）の道路交通課題に関して、地域の皆さまのご意見を伺い、今後の高規格道路の整備方針を検討するための、貴重な資料とさせていただきますと考えております。意識調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※高規格道路とは、主要都市や空港・港湾を連絡するなど広域的な道路ネットワークを構成する道路であり、車が入り出ることができる場所をIC等で制限して概ね60km/h以上のスムーズな走行の確保を図る道路。

意識調査の対象区間



アンケートの回答方法

今回の意識調査はWEBでの回答が可能です。下記の二次元バーコードよりご回答ください。なお、以下①と②の方法でもアンケート調査票を配布しておりますので、いずれかの方法でご回答いただきますようお願いいたします。

- ①出雲市及び松江市にお住まいの方から無作為に抽出した方へご自宅にアンケート調査票を配布いたしますので、回答はがきを郵便ポストに投函ください。
- ②出雲市及び松江市の道の駅や観光地、公共施設等でアンケート調査票を設置・配布しておりますので、回答はがきを投函箱もしくは郵便ポストへ投函ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。



アンケートは令和7年9月19日(金)まで実施中

■質問内容

定形郵便物

料金受取人払郵便

松江中央局 承認

0090

差出有効期間 令和7年11月30日 (切手不要)

6 9 0 - 8 7 9 0

島根県松江市殿町8番地

島根県 土木部 高速道路推進課 高速道調整係 行

■あなたご自身のことについて、記入または該当する番号に○をつけてください。

住所 〒 () 県 () 市・郡 () 町

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 () 歳代

■対象区間(出雲市東神西町の出雲インター線から松江市美保関町の国道431号の区間)における普段の利用状況について、該当する番号に1つ○をつけてください。

Q1. 現在の対象区間を利用する頻度を教えてください。

① ほぼ毎日 ② 週2~3回程度 ③ 月2~3回程度
④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない

⇒⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ、その他の方はQ2へ

Q2. 現在の対象区間を利用する主な目的を教えてください。

① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物
④ 仕事 ⑤ 観光・レジャー ⑥ 通院
⑦ その他()

住 《裏面》にも質問があります→

回答はがき(うら面)のアンケート設問にもご回答ください。

対象区間: 出雲市東神西町の出雲インター線から松江市美保関町の国道431号の区間

境港出雲道路 L=約70km

出雲市東神西町 - 松江市美保関町区間

西松江 津和野市 野松原町市 松江西町 美保関町

松江北道路 (事業中)

川津バイパス

松江第五大橋道路

島根半島

出雲市 松江市 島根県

東林木バイパス

出雲インター線

出雲市役所

出雲緑地空港

山陰自動車道

玉造温泉

島根市

雲南市

鳥取県

米子市

安来市

凡例

- 供用中 高規格道路(境港出雲道路)
- 事業中 高規格道路(境港出雲道路[調査中])
- 高規格道路(中国横断自動車道 岡山米子線 米子~境港[調査中])
- 供用中 高規格道路(上記以外)

意識調査に関するお問い合わせ先

【調査実施主体】

- 島根県 担当:土木部 高速道路推進課 高速道調整係
☎ 0852-22-5972(平日9:00~17:00)

【調査協力】

- 松江市 担当:都市整備部 大橋川治水・国県事業推進課 国県事業調整係
☎ 0852-55-5385(平日9:00~17:00)
- 出雲市 担当:都市建設部 建設企画課
☎ 0853-21-6561(平日9:00~17:00)
- 国土交通省 担当:中国地方整備局 松江国道事務所 計画課
☎ 0852-60-1345(平日9:00~17:00)

※アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

安心で快適な地域づくりのためにみなさまのご意見をお待ちしております。

■質問内容

【意識調査質問票】 (回答はがきに記載してください)

以下の質問にお答えください。

質問1 境港～出雲間（特に出雲市～宍道湖北岸、松江市橋北～美保関町間）における対象区間の道路状況をどのように感じていますか。

「出雲市東神西町～松江市西浜佐陀町間」、「松江市野原町～松江市美保関町間」に区分して、①～⑥について「そう思う～そう思わない」の5段階評価でご回答ください。

<5段階評価> a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない
d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 既存の高速道路や空港・港湾へのアクセス性が低く、効率的な物流活動を阻害している
- ② 観光地への移動時間が長く、多くの観光地へ訪れることが難しい
- ③ 時間帯によって移動時間にばらつきがあり、時間を読みにくい
- ④ 災害時の通行止めにより、移動が困難になる
- ⑤ 医療機関への移動や救急搬送において円滑性・迅速性に課題がある
- ⑥ 交通事故の発生や急カーブの存在により、安全・快適に通行できない
- ⑦ その他（上記以外の道路交通課題があると思われる場合、【回答はがき】の<自由回答欄>に具体的にご回答ください）

質問2 境港～出雲間（特に出雲市～宍道湖北岸、松江市橋北～美保関町間）では、上記のような道路交通課題の解決を目的に「境港出雲道路」の整備による道路ネットワークの強化策を検討しています。「境港出雲道路」についてご回答ください。

■回答方法 右記の【回答はがき】に記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。切手は必要ありません。
※別紙「境港～出雲間における道路交通課題に関する意識調査」に記載している二次元バーコードからアクセス頂ければ、WEBでの回答も可能です。

■締め切り **令和7年9月19日(金)まで** に投函ください。

※回答はがき(おもて面)も「回答ください」。

質問1についてお答えください。
左記の①～⑥について、区間別に該当する評価1つに○をつけてください。

区間	出雲市東神西町～ 松江市西浜佐陀町間					松江市野原町～ 松江市美保関町間				
	そう 思う	やや そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	そう 思わない	そう 思う	やや そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	そう 思わない
①	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
②	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
③	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
④	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
⑤	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
⑥	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

⑦その他：①～⑥以外の課題があれば
具体的にご回答ください
<自由回答欄>

⑦その他：①～⑥以外の課題があれば
具体的にご回答ください
<自由回答欄>

質問2についてお答えください。該当する番号に○をつけてください。

■「境港出雲道路」についてご存じですか。

- ① 知っている ② この意識調査で初めて知った

■上記で「①知っている」とご回答頂いた方は、知ったきっかけをご回答ください。【複数選択可】

- ① テレビ ② 新聞・雑誌 ③ ラジオ ④ インターネット
⑤ 知人 ⑥ その他()

道路交通課題に関する状況

①既存の高速道路や空港・港湾へのアクセス性が低く、効率的な物流活動を阻害している

- 中海・宍道湖圏域には多数の工業団地が整備されていますが、高速ICまで15分以上の時間を要する宍道湖北側の工業団地では、大半が現在も分譲中となっています。
- 中海・宍道湖圏域の空港・港湾は、全国の空港・港湾に比べて高速ICへのアクセス性が低くなっています。

■高速ICのアクセス時間カバー圏域



資料:(所要時間)令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果の混雑時旅行速度より算出、(分譲率)島根県提供データ(R6.9.時点)

河下港臨海工業団地



出雲市東部工業団地



朝日ヒルズ工業団地



ソフトビジネスパーク島根



道路交通課題に関する状況

②観光地への移動時間が長く、多くの観光地へ訪れることが難しい

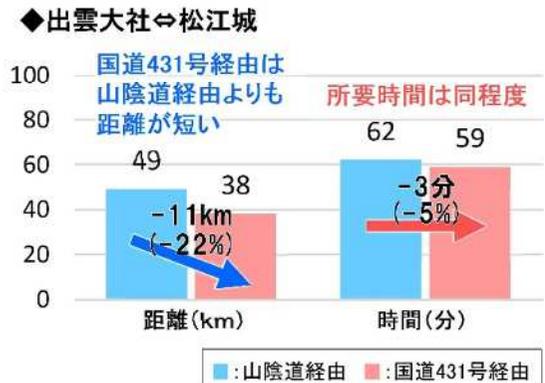
● 中海・宍道湖圏域内には、出雲大社や松江城等の主要な観光地があるものの、観光地間の移動に時間を要しています。

■主要観光地間の所要時間・距離

国道431号経由は山陰道経由より距離は短い、高規格道路ネットワークが整備されていないため、時間を要する



■拠点間の経路別の距離・所要時間の比較



資料: (所要時間・距離) 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果の混雑時旅行速度より算出

■クルーズ船オプショナルツアーの訪問先と境港からの所要時間



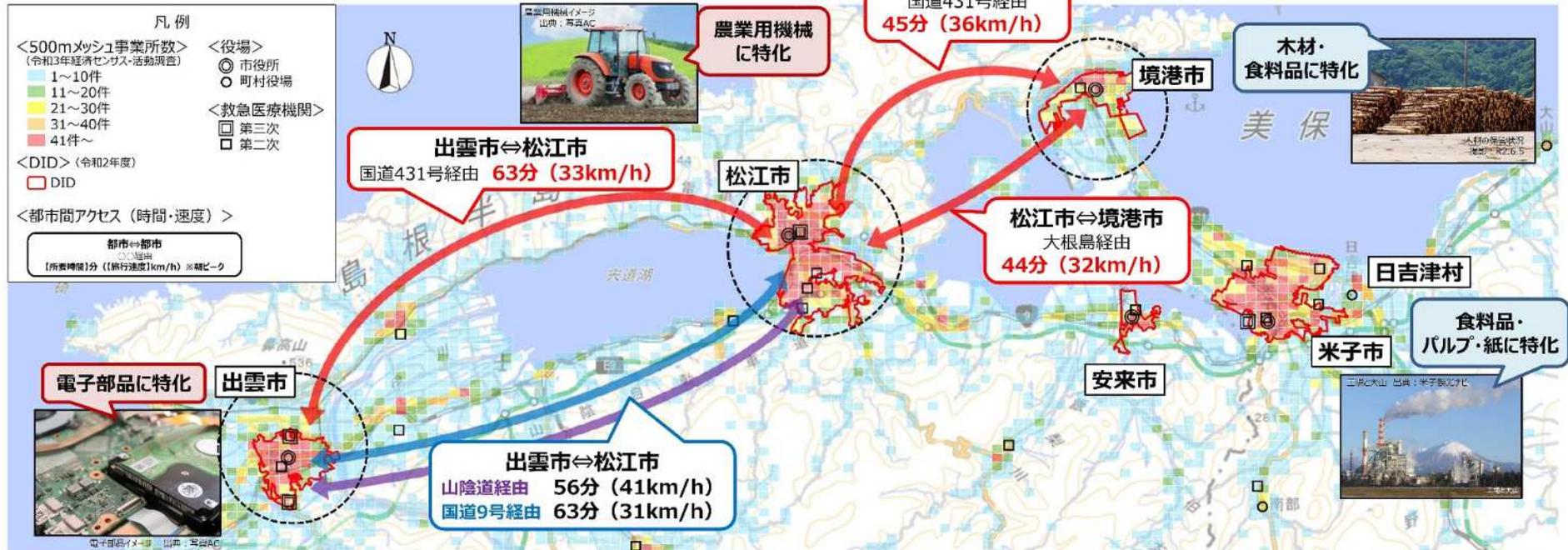
資料: (オプショナルツアー観光バス台数) 境港管理組合提供(2019年) (所要時間) 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果の混雑時旅行速度より算出(非センサス路線は30km/hとして算定)

道路交通課題に関する状況

③時間帯によって移動時間にばらつきがあり、時間を読みにくい

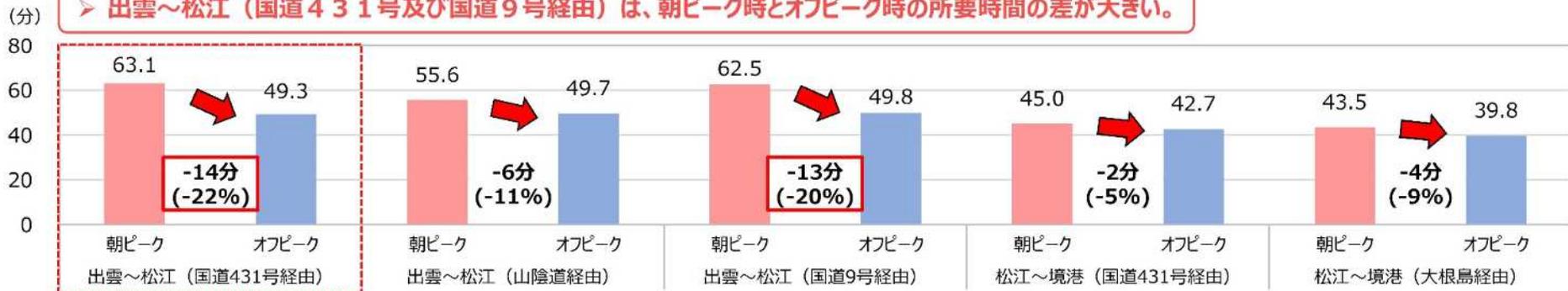
●各都市間アクセスを比較すると出雲～松江間の国道431号と国道9号経由では、朝ピーク時とオフピーク時の所要時間差が大きい。そのため、朝の通勤等には余裕を持った移動を余儀なくされています。

■出雲・境港間の事業所・生活拠点の分布状況と都市間アクセス



■都市間の所要時間

➤ 出雲～松江 (国道431号及び国道9号経由) は、朝ピーク時とオフピーク時の所要時間の差が大きい。



※都市間所要時間はETC2.0プローブデータ(2023年11月平日)より 所要時間が遅い方向の所要時間を算出
朝ピーク:7時台・8時台の平均値 オフピーク:9時台～16時台平均値

道路交通課題に関する状況

⑤医療機関への移動や救急搬送において円滑性・迅速性に課題がある

● 中海・宍道湖圏域内には、鳥取・島根県の7割にあたる4つの三次医療機関が立地していますが、島根半島の国道431号沿線には三次医療機関に30分で到達できないエリアが多く存在しています。

■三次医療機関のカバー圏



資料:(所要時間) 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果の昼間12時間平均旅行速度より算出



道路交通課題に関する状況

⑥交通事故の発生や急カーブの存在により、安全・快適に通行できない

- 境港出雲道路並行路線では、松江市中心部及び出雲市中心部において重大事故が多く発生しています。
- また、国道431号の中海北側及び宍道湖西側には急カーブが多く分布しています。

■境港出雲道路並行路線*の重大事故発生箇所及び急カーブ箇所

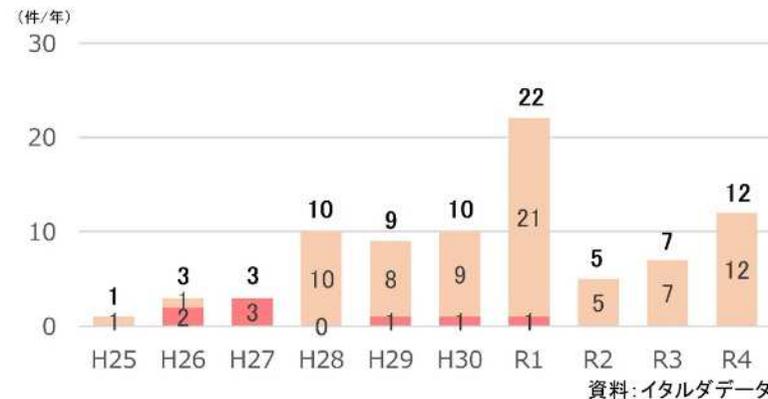


資料:【重大事故発生箇所】イタルダデータ(R1-R4)、【急カーブ】島根県HP(道路台帳閲覧システム)
 ※境港出雲道路並行路線として、県道出雲インター線、国道9号、県道矢尾今市線、国道431号を集計

■境港出雲道路並行路線*の事故類型

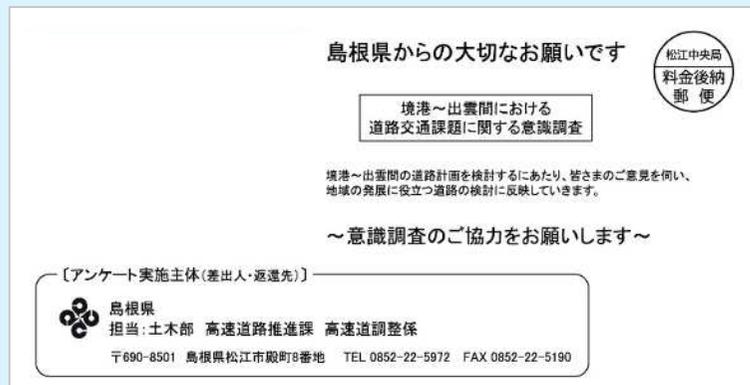


■境港出雲道路並行路線*の重大事故(死亡+重傷)件数の推移



■ 郵送アンケート調査は、「郵便ポストへの投函」もしくは「WEBアンケートからの回答」のいずれかを選択。

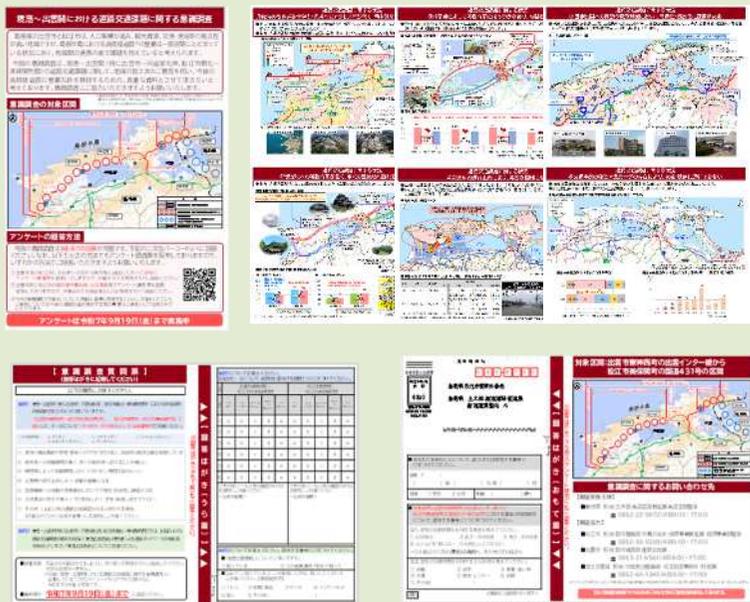
■封筒イメージ



● アンケート票の回答方法(郵便ポストへの投函)



■封入資料イメージ



● アンケート票の回答方法(WEBアンケートからの回答)



- 留め置きアンケート調査は、沿線地域外からの来訪者、WEBアンケート調査の回答が困難な地域住民を対象に調査を実施。
- なお、留め置きアンケート調査は、「投函箱への投函」もしくは「WEBアンケートからの回答」のいずれかを選択。
- ヒアリング調査は、アンケート調査の視点別に、代表的な関係機関等を設定し調査を実施。

■留め置きアンケート調査の調査箇所

対象箇所		箇所数
自治体窓口	・松江市役所(本庁、鹿島支所、島根支所、美保関支所、八雲支所、玉湯支所、宍道支所、八束支所、東出雲支所) ・出雲市役所(本庁、平田行政センター、湖陵行政センター、大社行政センター、斐川行政センター、佐田行政センター、多伎行政センター)	16箇所
道の駅	・松江市内(秋鹿なぎさ公園、本庄) ・出雲市内(大社ご縁広場、湯の川、キララ多伎)	5箇所
主要観光地	・松江市内(美保関、松江城山公園、玉造温泉) ・出雲市内(出雲大社、日御碕、一畑薬師)	6箇所
合計		27箇所

■留め置きアンケート調査の設置状況



(道の駅本庄)



(日御碕ビジターセンター)

■ヒアリング調査の調査対象者

対象者		企業・団体数
防災関係	・松江市防災危機管理課、出雲市防災安全課	2箇所
産業・物流関係	・島根県トラック協会、製造事業所、運送事業所	18箇所
港湾・空港関係	・出雲縁結び空港、米子鬼太郎空港、境港	3箇所
観光関係	・松江観光協会、出雲観光協会、中海・宍道湖・大山圏域観光局等	6箇所
医療関係	・松江市消防本部、出雲市消防本部	2箇所
安全・安心関係	・松江警察署、出雲警察署	2箇所
日常生活関係	・交通事業者	2箇所
合計		35箇所

■ヒアリング調査項目

質問	概要	備考
①	・対象分野の実態等	✓ 交通課題の背景となる対象施設の利用実態等を把握
②	・道路交通課題に対する評価とその理由、具体的な内容を把握	✓ アンケート調査と同様の質問に加え、評価の理由等を詳細に確認(ヒアリング調査の主目的)
③	・境港出雲道路に期待する効果を把握	

■意識調査の広報状況

■新聞折込チラシでの周知(アンケート案内)

- 対象地域：松江市、出雲市
- 折込部数：111,640枚
- 折込日：8/20(水)朝刊

境港～出雲間における道路交通課題に関する意識調査 ～アンケートにご協力ください～

アンケートの目的

島根県の出雲市と松江市は、人口集積が進み、観光資源、空港・港湾等の拠点性が高い地域ですが、島根半島における高規格道路[※]の整備は一部区間にとどまっている状況にあり、地域間の連携の面で課題を抱えていると考えられます。

今回の意識調査は、境港～出雲間(特に出雲市～宍道湖北岸、松江市橋北～美保開町間)の道路交通課題に関して、地域の皆さまのご意見を伺い、今後の高規格道路の整備方針を検討するための、貴重な資料とさせていただきますと考えております。意識調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※高規格道路とは、主要都市や空港・港湾を連絡するなど広域的な道路ネットワークを構成する道路であり、車が入り出ることができるIC等で制限して幅員60km/h以上のスムーズな走行の確保を図る道路。

意識調査の対象区間



境港出雲道路 L=約70km

アンケート実施期間
令和7年9月19日(金)まで

アンケートの回答方法
今回の意識調査はWEBでの回答が可能です。下記の二次元バーコードよりご回答ください。



アンケート設置箇所 ※8月20日(水)以降 順次設置予定

番号	施設名	住所	番号	施設名	住所
1	松江市役所	松江市	17	道の駅秋鹿なぎさ公園	松江市
2	鹿島支所	松江市	18	道の駅本庄	松江市
3	島根支所	松江市	19	道の駅大社ご縁広場	出雲市
4	美保開支所	松江市	20	道の駅湯の川	出雲市
5	八雲支所(八雲公民館内)	松江市	21	道の駅キララ多伎	出雲市
6	玉湯支所	松江市	22	美保開(青石渡り無料休憩所)	松江市
7	宍道支所(宍道公民館内)	松江市	23	松江城山公園(興雲閣)	松江市
8	八束支所	松江市	24	玉造温泉(玉造温泉ゆーゆー館)	松江市
9	東出雲支所(東出雲公民館内)	松江市	25	出雲大社(神門通り観光案内所)	出雲市
10	出雲市役所	出雲市	26	日御碕(白湖観音センター)	出雲市
11	平田行政センター	出雲市	27	一畑薬師(一畑薬師センター)	出雲市
12	佐田行政センター	出雲市			
13	多伎行政センター	出雲市			
14	湯陰行政センター	出雲市			
15	大社行政センター	出雲市			
16	斐川行政センター	出雲市			

以下①と②の方法でもアンケート調査票を配布しておりますので、いずれかの方法でご回答いただけますようお願いいたします。

①出雲市及び松江市にお住まいの方から無作為に抽出した方へご自宅にアンケート調査票を配布いたしますので、回答はがきを郵便ポストに投函ください。

②出雲市及び松江市の道の駅や観光地、公共施設等でアンケート調査票を設置しますので、回答はがきを投函箱もしくは郵便ポストへ投函ください。

(←左記アンケート設置箇所参照)

お問い合わせ

【調査実施主体】 ■島根県 担当:土木部 高速道路推進課 高速道調整係
☎ 0852-22-5972(平日9:00～17:00)

【調査協力】 ■松江市 担当:都市整備部
大橋川治水・国県事業推進課 国県事業調整係 ■国土交通省
☎ 0852-55-5385(平日9:00～17:00) ☎ 0852-60-1345(平日9:00～17:00)

■出雲市 担当:都市建設部 建設企画課
☎ 0853-21-6561(平日9:00～17:00)

■自治体HPによる周知



The screenshot shows the official website of Shimane Prefecture with a dedicated page for the survey. The page title is '境港出雲道路' (Sakai Port to Iwumino Road). It includes sections for the survey's purpose, the planning committee, and a call to action for the survey. A QR code and a link to the survey page are highlighted with a red box.

■WEBアンケートの実施

境港～出雲間における道路交通課題に関する意識調査

境港～出雲間における道路交通課題に関する意識調査へのご協力をお願い

島根県の出雲市と松江市は、人口集積が進み、観光資源、空港・港湾等の拠点性が高い地域ですが、島根半島における高規格道路[※]の整備は一部区間にとどまっている状況にあり、地域間の連携の面で課題を抱えていると考えられます。

今回の意識調査は、境港～出雲間(特に出雲市～宍道湖北岸、松江市橋北～美保開町間)の道路交通課題に関して、地域の皆さまのご意見を伺い、今後の高規格道路の整備方針を検討するための、貴重な資料とさせていただきますと考えております。意識調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※高規格道路とは、主要都市や空港・港湾を連絡するなど広域的な道路ネットワークを構成する道路であり、車が入り出ることができるIC等で制限して幅員60km/h以上のスムーズな走行の確保を図る道路。

◆本調査の回答期限◆

令和7年9月19日(金)まで

◆意識調査に関するお問合せ◆

【調査実施主体】 島根県 担当:土木部 高速道路推進課 高速道調整係 TEL: 0852-22-5972(平日9:00～17:00)

※アンケートでご回答いただいた個人情報および個人情報は、目的の範囲で利用したり、第三者に提供したりすることはいたしません。

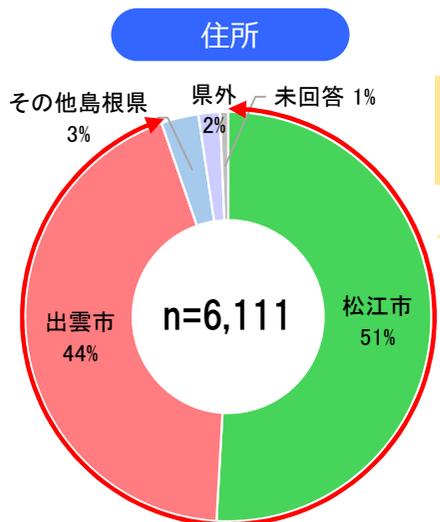
次へ

■実施概要

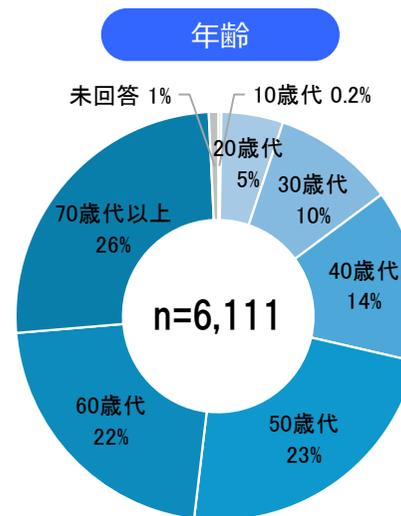
項目	調査期間	種別	対象者・団体等		回答数
アンケート	R7年8月5日 ～9月19日	WEB	地域住民	松江市	1,534件
				出雲市	1,332件
				小計	2,866件
			島根県内・県外・住所不明含む		249件
		郵送	地域住民	松江市	1,499件
				出雲市	1,250件
				その他(住所不明)	13件
				小計	2,762件
		留置	地域住民	松江市	79件
				出雲市	92件
				小計	171件
			来訪者等(島根県内・県外・住所不明含む)		63件
		合計		6,111件	
ヒアリング	R7年8月27日 ～10月3日	ヒアリング	企業・団体	警察署、消防本部、観光協会、 空港・港湾等	35団体・企業

- アンケート回答者の所在地は、松江市と出雲市で約9割を占める。
- 年齢別では幅広い世代で抽出されている。
- 境港～出雲間の道路を利用する頻度は、週2～3回以上利用する人が約3割を占める。
- 主な利用目的は、家事・買い物等の日常生活における移動が約5割を占める。

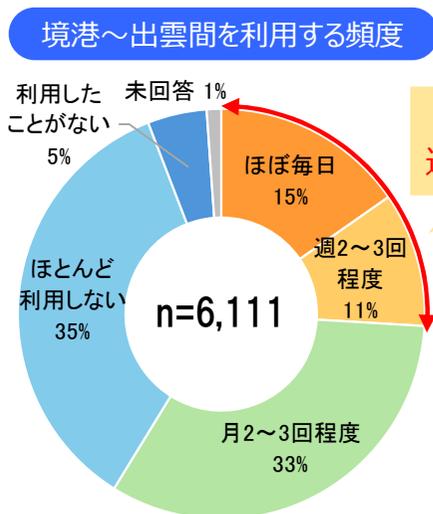
■ アンケート調査の回答者属性



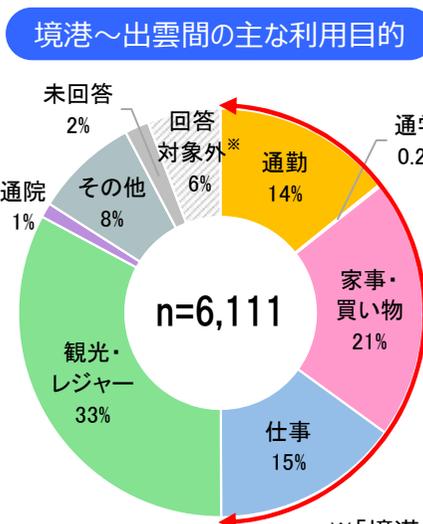
9割強が松江市と出雲市からの回答



幅広い世代



約3割が週2～3回以上利用



家事・買い物等の日常生活での移動が約5割

※「境港～出雲間を利用する頻度」の質問において、「利用したことがない」、「未回答」に該当する人

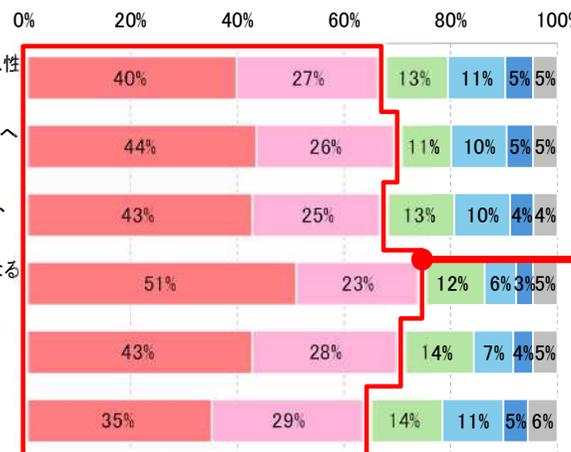
- 「出雲市東神西町～松江市西浜佐陀町間」及び「松江市野原町～松江市美保関町間」の両区間において、概ね全ての道路交通課題について「そう思う」・「ややそう思う」と回答した人が全体の約6～7割を占める。
- ただし、「松江市野原町～松江市美保関町間」における定時性の課題については、「そう思う」・「ややそう思う」と回答した人が全体の約5割となっている。

■質問①(境港～出雲間における道路交通課題に関する意識)



概ね全ての道路交通課題に対して、「そう思う」・「ややそう思う」と回答した人が全体の約6～7割を占める

【出雲市東神西町～松江市西浜佐陀町間】



【松江市野原町～松江市美保関町間】

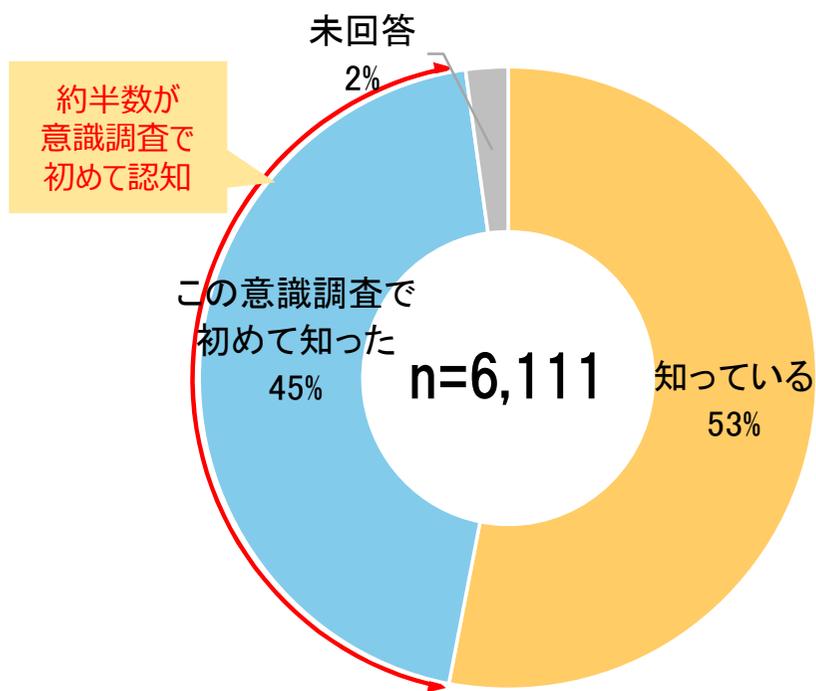


- ① 既存の高速道路や空港・港湾へのアクセス性が低く、効率的な物流活動を阻害している
- ② 観光地への移動時間が長く、多くの観光地へ訪れることが難しい
- ③ 時間帯によって移動時間にばらつきがあり、時間を読みにくい
- ④ 災害時の通行止めにより、移動が困難になる
- ⑤ 医療機関への移動や救急搬送において円滑性・迅速性に課題がある
- ⑥ 交通事故の発生や急カーブの存在により、安全・快適に通行できない

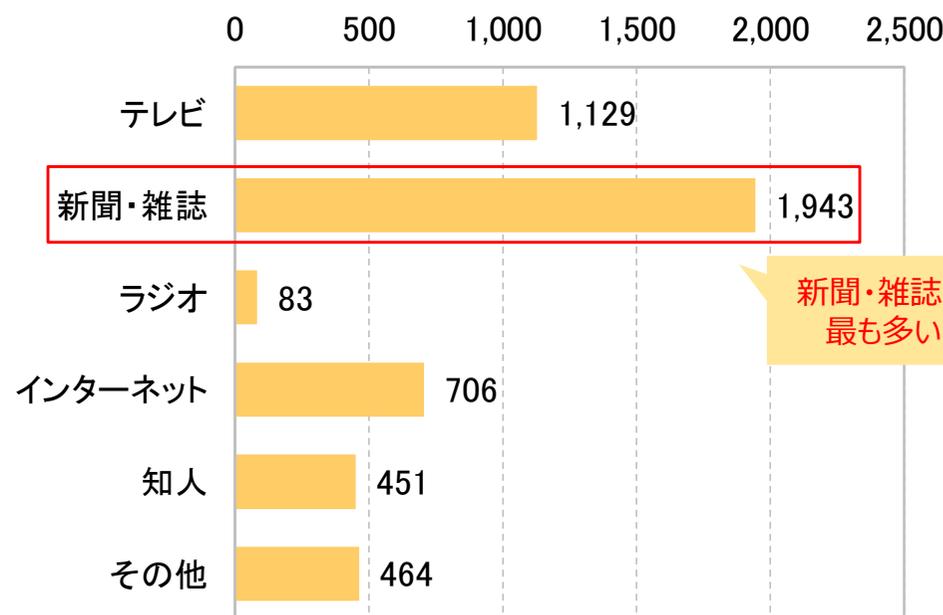
- 境港出雲道路を意識調査によって初めて認知した人が、全体の約半数を占める。
- 知ったきっかけは、新聞・雑誌が最も多く、次いでテレビが多い。

■質問②(境港出雲道路の認知度)

「境港出雲道路」の認知度



「境港出雲道路」を知ったきっかけ



n=4,776

※認知度で「知っている」と回答した回答者のみ。複数回答。

■ 自由意見は、計2,014件の回答があり、「質問項目に関する意見」、「その他意見」、「道路への要望」に分類・整理を行い、質問項目に関する意見では「安全・安心」に関する意見が最も多かった。

■アンケート調査における自由意見

【自由意見回答数:2,014件】

項目	分類 (件数)	回答者属性	自由意見	
質問項目に対する意見	産業 (38件)	松江市/30代	交通の利便性が悪いことで地域経済の発展が遅れているように感じる。	
	観光 (95件)	出雲市/50代	松江～出雲は湖北の方に観光地が集中しているのに、国道431号のみがアクセス路となっている現況は島根東部にとって観光需要の喚起への足かせとなっているものと思っています。	
	日常生活 (22件)	出雲市/70代	土日と平日の交通量にばらつきあり、時間が読めない。	
	防災 (247件)	出雲市/50代	島根原発の事故があった場合避難が困難になると思う。	
		松江市/50代	出雲から松江に帰る際、一部が冠水で通行できなかったが、迂回路がない為に9号線まで出るしかなく、移動に時間がかかった。	
	医療 (18件)	出雲市/70代	道幅が狭く緊急車両の移動時間に支障があると思う。	
	安全・安心 (628件)	松江市/70代	宍道湖北岸の道路は交通量の多さに対し、道路車線が少ないうえに、道路幅も狭く車以外の通行も危険な所が多い。	
出雲市/50代		道幅が狭い割には大型車の通行が多いので運転していて怖さを感じる。		
その他意見	他の課題に関する意見	渋滞 (251件)	松江市/70代	朝・夕通勤時間帯に渋滞があり非常に不便を感じている。
			松江市/30代	道が狭く片側1車線しかないため、遅い車があると渋滞が起きやすい。
		並行現道 (周辺道路網) の課題 (26件)	松江市/70代	住民と観光と別の見方で視点が別れるが、特にこの地域は両面で道路行政が遅れている。
		管理 (160件)	出雲市/50代	草刈りが不十分で車道へはみ出している。
		マナー (15件)	松江市/60代	運転マナーが悪い。
		地域課題 (48件)	松江市/60代	用事が無いのでほとんど通らない。何か魅力があればいいと思う。
	否定的意見	否定的意見 (55件)	松江市/50代	人口減少、高齢化がすすみ必要ない。
	その他	事業に対する懸念、疑問 (199件)	出雲市/30代	動線が変わることで、今の幹線道路沿いの店舗の経営に打撃があることを懸念しています。
		その他 (40件)	出雲市/20代	新幹線を通して欲しい。
	道路への要望	並行現道 (周辺道路網) への要望 (74件)	出雲市/60代	境港出雲道路が完成するまでの間、既存道路 (R431) の改良必要区間があると思われ整備が必要と思う。
境港出雲道路への要望 (208件)		出雲市/50代	片側2車線の道路整備をしないと、事故等で通行止めが発生する可能性では、物流や観光の計画路線にはなりにくい。	
境港出雲道路への早期整備の必要性 (102件)		松江市/60代	早期に実現して欲しい。	
アンケート対象外の境港出雲道路への要望 (42件)		松江市/70代	松江北道路を早く開通させてほしい。	
山陰道、国道9号への要望 (97件)		出雲市/50代	山陰道の料金が頻繁には使えないので、鳥取県のように無料にして欲しいです。	
その他道路への要望 (146件)		出雲市/50代	宍道湖の北側は、高速と空港アクセスが悪すぎる為、斐川ICから北へ延びるバイパスが必要と思う。	

※回答者が複数の内容の意見を述べることもあるため、意見数の総数は自由意見回答数と一致しない

■ ヒアリングより、物流の効率化や観光周遊性の向上、円滑な移動、災害に強い道路の確保、安心な医療、事故の減少に資する道路が地域に求められている状況を確認した。

■ヒアリング調査の結果

赤字：課題 青字：期待される効果

分類	主な意見
産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 境港で保管している原材料を松江市内の自社工場まで運搬する際には、美保関町の国道431号は狭いため、迂回となるが、宍道湖南側から米子経由で境港に入る南回りルートを現在利用している。宍道湖北側に高規格道路が整備されれば、時間短縮になるし、定時性も確保される。 ● 出雲市内の工業団地から山陰道や出雲縁結び空港へのアクセスは、朝晩の渋滞が激しいため、時間帯によっては関西圏・関東圏への物資の輸送には適さない。 ● 宍道湖北側は、最寄りの高速IC・空港がいずれも「湖南側」に位置し、アクセスが弱い。宍道湖北側の工業団地は空き区画があるものの、企業側が「湖南側」の工業団地が造成されるまで待つ傾向にある。 ● 境港出雲道路が開通すれば、輸送時間の短縮により、業務効率や物流の観点、物流費の削減等に効果が期待される。 ● 境港を利用している企業の西側の端は現在出雲までとなっているが、所要時間が短くなれば顧客の拡大が期待できる。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 松江城⇄出雲大社の周遊は国道431号経由が主流で、繁忙期（神在月等）は大渋滞。結果として訪問箇所を絞らざるを得ず、周遊性が下がる。 ● 出雲空港は福岡便や東海方面への便があり、米子空港と使い分けする人も多く、米子や境港からの乗客のアクセスがしやすくなることを期待する。また、圏域内に米子空港から入って、出雲空港から出るという需要の増加に期待している。 ● 美保関～境港～出雲大社のツアーでは、片道2時間弱程度を移動時間に要するため、観光地での滞在時間に余裕がないツアーとなっている。当該道路の整備により、移動時間が短縮することで、観光地での滞在時間の拡大、立ち寄り箇所の拡大等の効果が期待される。
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝の渋滞がひどいため、時間をずらして早めに出社するもしくは、遅く出社する等の対応をとっている。 ● 宍道湖～中海北岸における高規格道路の開通により、慢性的な交通渋滞の解消、安全性の向上、路線バスの円滑な運行に期待します。 ● 道路の整備が進めば、会社までの通勤時間が短縮でき、人材確保の面で求人の幅が広がる。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年の元日に発生した豪雪時には、救急搬送に約4時間を要した事案があった。平常時であれば、約30～40分の搬送時間が、50cm以上の積雪と、道路の立ち往生した車両などにより進路を阻まれたことなどが原因であった。 ● 被災現地に向かう道路の確保（被災地の確認や物資の運搬）、住民側から見たら避難所に向かう道路の確保が必要。 ● 出雲市平田周辺の浸水箇所は改善が必要。観光協会では出雲市（出雲大社方面）～松江市間は通常国道431号を案内しているが、雨天時に浸水で通行困難となり、当該路線への案内ができないケースがある。 ● 高規格道路が整備されることで、大規模災害時に応援隊の到着が早まり、複数の部隊を効率的に動かせる。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● カーブが多く、路面状態も悪いため、救急搬送中の車内での処置への影響や、搬送時間の延長にもつながることが懸念される。 ● 松江市中心部、出雲市平田町付近等、朝夕に混雑しているところがある。 ● 高規格道路が整備されることで救急現場への到着が早くなり、搬送時間も短縮されることで、救命率の向上が期待できる。 ● 出雲地域は、県内の他地域に比較すると救急受入病院に恵まれた地域ですが、全国的な傾向と同様に救急出場件数が増加しています。短期間で救急出場が集中すると出雲地域の病院だけでは受入れが難しい場合や松江市との境界地域においては、かかりつけ病院が松江市内のことも多いため、松江市への搬送をする場合もあり、宍道湖北側の道路は重要な交通経路であり整備に期待している。
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 美保関支所以东において、見通しの悪い区間が多く、また当該区間は大型車両（貨物・燃料輸送等）が頻繁に往来することから危険箇所が多い。 ● 松江手角町～松江美保関町森山（境水道大橋交差点）間の国道431号は、狭隘区間が複数あり、特に大型車同士の離合に難渋する。 ● 道の駅本庄付近～境水道大橋付近は線形が悪く、大型車のはみ出しが多い。 ● 安全性の高い道路が整備されることで、交通事故が減少し、快適な走行に寄与する。